

いつでも・だれでも・どこでも

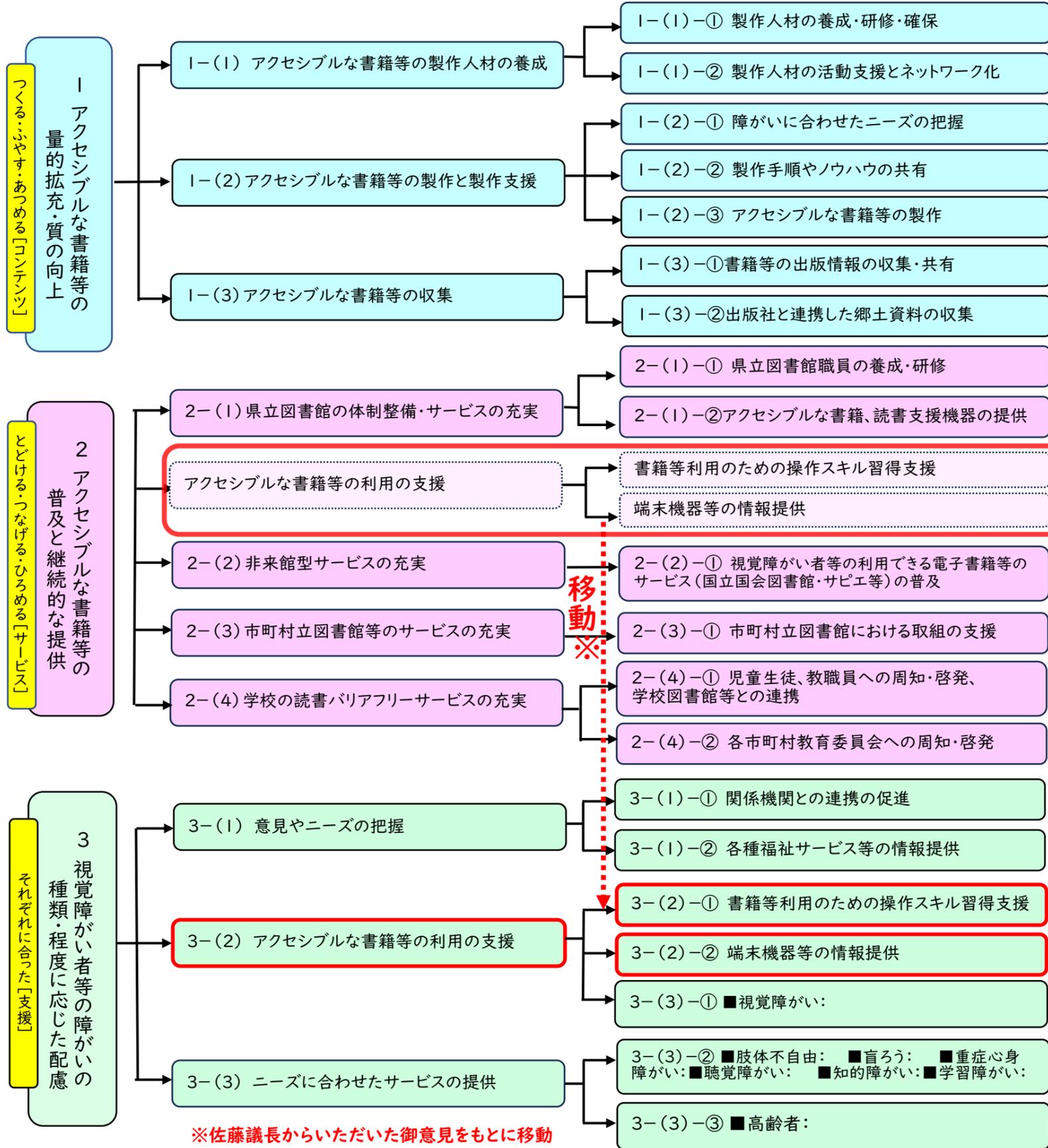
全県的な読書バリアフリーの推進により、居住地や障がいの有無に関わらず、すべての県民が文字・活字文化の恩恵を享受できる。(=どこでも・誰でも・読書バリアフリーサービスを受けられる)

柱(大目標)

中目標

小目標

具体的な取組 ※現時点評価で得られた今後必要な取組と協議会での意見を反映



- (ア) 点訳・音訳ボランティアに関する広報や養成講習会の実施
- (イ) 点訳・音訳ボランティアのスキルアップ研修の実施や指導・助言等、活動のサポート
- (ウ) サピエ図書館への製作したアクセシブルな書籍データのアップロード
- (エ) 関係団体訪問や関係者協議会等を通じたニーズの把握と関係先とのニーズの共有
- (オ) 県立図書館職員のアクセシブルな書籍製作に関する研修
- (カ) E-PUB形式等アクセシブルな形式に留意した電子書籍の収集・提供
- (キ) 自治体刊行物を含む郷土出版物のアクセシブルな形式による製作の働きかけ
- (ク) アクセシブルな書籍の出版情報の収集・共有
- (ケ) アクセシブルな書籍の出版に向けた地元出版社との協力
- (コ) 県立図書館内の標示・案内等の改善
- (サ) 読書バリアフリーの最新動向の把握や県立図書館職員のスキルアップ研修の実施
- (シ) サピエや国立国会図書館視覚障がい者等用データ送信サービスの登録へ向けた働きかけ
- (ス) サピエ図書館等の利用方法についての研修会や利用体験会の実施
- (セ) 市町村立図書館・学校図書館へのアクセシブルな書籍充実に向けた働きかけ
- (ソ) 市町村立図書館・学校図書館への訪問等による普及・啓発
- (タ) 各市町村の図書館職員、福祉関係者、学校図書館(図書館担当以外の教職員を含む)を対象とした研修の実施
- (チ) 関係者との情報連絡会の実施や広報資料の作成・配布
- (ツ) 当事者団体等と連携したアクセシブルな図書等の出前図書館の実施
- (テ) 関係者との情報連絡会の実施や広報資料の作成・配布
- (ト) 新たな支援機器についての広報や体験会の実施
- (ナ) アクセシブルな書籍や端末機器の貸出・広報
- (ニ) 視覚障がい者支援センター等関係機関と連携した図書館サービスの利用支援
- (ヌ) 普通学校に通学する児童・生徒への支援情報の提供
- (ネ) スマホ等を活用した読書方法に係る情報提供と利用方法の習得支援についての周知
- (ノ) 関係機関と連携した視覚障がい者以外へのサービス情報の提供
- (ハ) (学習障がい・発達障がい) デジタル教科書やマルチメディアデージー等アクセシブルな図書の学習面での活用の推進
- (ヒ) (高齢者) アクセシブルな図書の利用について等、関係課、各市町村の関係課・高齢者団体と連携した普及・啓発活動の実施。